

がつ だい か おう
12月 第2課 王である祭司

”しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。”（Ⅰペテロ2:9）

今日の本文のみことばに対して聖書で最初に約束しているところが出エジプト記19章です。5-6節を読みましょう。

”今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中にあって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの子らにあなたがたが語るべきことばである。”（出19:5-6）

ここでは国と祭司となる条件が付いています。「わたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら」と。しかし、みなさんがよく知っているように、出エジプトしたイスラエルは、カナンに入るまで荒野の40年を過ぎるとき、神様のみことばとは反対の生活を送っていました。その結果が、出エジプトした第1世代は、ヨシュアとカレブ以外はすべて荒野で死んで、荒野で生まれた第2世代が約束の地に入ったのです。聖書のイスラエルは、私たちのことを言います。私たちは、神様のみことばの約束を守る力も実力もない者たちです。それゆえ、イエス・キリストが来られ、すべてを成し遂げてくださったのです。その成就のみことばがヨハネの黙示録1章5-6節です。

”また、^{たし}確かな^{しょうにん}証人、^{ししや}死者の^{なか}中から^{さいしよ}最初に^う生まれた^{かた}方、^ち地の^{おう}王たちの^{しはいしや}支配者であるイエス・キリストから、^{めぐ}恵みと^{へいあん}平安があなたに^{わたし}あるように。私^{わたし}たちを^{あい}愛し、^ちその^ち血によって^{わたし}私^{つみ}たちを^と罪から^{はな}解放し、また、^{じぶん}ご自分の^{ちち}父である^{かみ}神のために、^{わたし}私^{おうこく}たちを^{おうこく}王国とし、^{さいし}祭司として^{かた}くださった^{えいこう}方に、^{ちから}栄光と^よ力が^よ世々限りなくあるように。アーメン。”

^{もくしろく}(黙示録1:5-6)

どのようにして^{くに}国と^{さいし}祭司として^{わたし}くださったのでしょうか。イエス・キリストの^ち血で^{わたし}私^{つみ}たちを^{かいほう}罪から解放して^{わたし}くださったことによって。

^{うえ}上のみことばに、^{おう}王である^{さいし}祭司、^{さいし}祭司の^{おうこく}王国、^{せい}聖なる^{こくみん}国民など、^{さまざま}様々な^{ひょうげん}表現をしていますが、すべて^{どうかく}同格の^{ひょうげん}表現です。^{おう}王が^{くに}すなわち^{くに}国であり、^{くに}国が^{さいし}すなわち^{さいし}祭司だということとです。そのような意味で、キリストの^{さんしよくむ}三職務をすべて^{ふく}含んでいる^みみことばであるとも^み見ることができます。^{おう}王の^{おう}王である^{かみさま}キリスト、^あ神様に^{みち}会う^{てんごく}道、^{つう}すなわち^{ゆういつ}天国に通じる^{みち}唯一の^{よげんしや}道となった^{つみ}預言者である^{かいほう}キリスト、^{さいし}罪から解放して^{さいし}くださった^{さいし}祭司である^{さいし}キリスト。

このようなイエス・キリストの^{さんしよくむ}三職務の^{しせつ}使節として、^{わたし}私^{えら}たちが^{かみ}選ばれて、^{しよくう}神の(所有された)ものになったのです。それはキリストが^{じゅうじか}十字架の^し死と^{ふっかつ}復活を^{とお}通して^{はたら}キリストの働きを^な成し^と遂げたように、^{わたし}私^ひたちも^ひ日々の^{せいかつ}生活の^{げんじつ}現実の^{なか}中で、^{わたし}私^{じゅうじか}は^し十字架で^{わたし}死んで、^{わたし}私の^{なか}中に^いイエス・キリストだけが^い生きて^{じかく}おられることを^{こくはく}自覚し、^{ほこ}告白し、^{じんせい}誇る^い人生を^い生きなければならぬのです。

”もはや^{わたし}私^いが^{わたし}生きて^いいるのではなく、^{わたし}キリストが^{わたし}私^いのうちに^い生きて^いおられるのです。

^{いまわたし}今^{にく}私が^い肉において^{わたし}生きて^{わたし}いる^あいの^{わたし}ちは、^{わたし}私^あを^{わたし}愛し、^{わたし}私^{じぶん}のために^{あた}ご自分を^{あた}与えて^{あた}くださった、^{かみ}神の^み御子^こに対する^{たい}信仰^{しんこう}によるのです。”(ガラ2:20)

“しかし私^{わたし}には、私^{わたし}たちの主イエス・キリストの十字架^{じゅうじかいがい}以外に誇^{ほこ}りとするものが、決^{けつ}してあつてはなりません。この十字架^{じゅうじか}につけられて、世^せは私^{わたし}に対して死^しに、私^{わたし}も世^せに対して死^しにました。”(ガラ6:14)

今日^{きょう}の本文^{ほんぶん}に光^{ひかり}を告^つげ知^しらせるというみことばが、まさ^{まさ}に人々^{ひとびと}の前^{まえ}で発^{はつ}表^{びょう}する、大^{おお}きく誇^{ほこ}るという意^い味^みです。